

肝炎対策専門委員会

目 次

老人保健事業による「肝炎ウイルス検診」終了後の 新たな体制の整備について

活動の概要

肝炎対策専門委員会

(平成19年度)

老人保健事業による「肝炎ウイルス検診」終了後の 新たな体制の整備について

広島県地域保健対策協議会 肝炎対策専門委員会

委員長 吉澤 浩司¹
分担研究者 田中 純子²・片山 恵子²・田渕 文子²
布施 淳一³・茶山 一彰⁴・相光 汐美⁵
川上 広育⁶・吉川 正哉⁷・舛田 一成⁸
大林 諒人⁹・坂田 達朗¹⁰・浮田 實¹¹
吉田 智郎¹²・中西 敏夫¹³

活動の概要

本委員会は、1992年度以来、県のパイロット事業の一環として地域住民検診にC型肝炎ウイルス検査(HCV検査)を取り入れ、HCVキャリアを合理的に見出すための検査手順や、有効性についての検討を続けてきた。2002年4月から全国規模で実施に移された老人保健事業による「肝炎ウイルス検診」の実質的な実施要項を作成するにあたっては、本委員会が約10年間にわたって蓄積してきた成績と経験が基礎資料として役立てられたことは周知の通りである。

また、本委員会は、2002年より「肝炎治療ネットワーク作業小委員会」を設置し、パンフレット、健康管理手帳などを作成して全県下に配布し、検診に関する説明会を二次医療圏ごとに開催してきた。また、各地区の地域保健対策協議会(地区地对協)の協力を得て二次医療機関の整備、公表を図るとともに検査により見出されたキャリアの治療体制を整えてきた。

2007年3月の「肝炎ウイルス検診」の終了に伴い、本委員会は、県の肝炎対策協議会の実務集団として、その位置付けを明確化し、これまで「肝炎治療ネットワーク作業小委員会」が行ってきたことを県の制度としての「肝炎治療支援ネットワーク」体制に切り替えて、再構築する作業に着手した。

専門医療機関の中核医療機関として位置づけられる肝疾患診療連携拠点病院については、その任務を

協議の上、選定の基準、方法についての考え方をまとめ、県の肝炎対策協議会に提示した。

さらに、来年度(平成20年度)から実施されるインターフェロン治療助成制度については、本県独自の「肝疾患診療支援ネットワーク」体制を活用した制度の構築を図った。

平成20年度は、県で実施されるインターフェロン治療助成の実務上の諸問題について協議、協力し、「肝疾患診療支援ネットワーク」を軌道に乗せていく予定である。

また、肝炎ウイルス検査事業促進のための実務上の問題点についても改善を加え、県内での肝炎ウイルスキャリアの発見率の向上に貢献していく予定である。

¹広島大学大学院 疫学・疾病制御学教授

²広島大学大学院 疫学・疾病制御学

³広島県福祉保健部総務管理局健康増進・歯科保健室

⁴広島大学大学院 分子病態制御内科学

⁵広島赤十字・原爆病院

⁶川上消化器・内科クリニック

⁷吉川医院

⁸舛田内科・消化器科

⁹厚生連尾道総合病院

¹⁰福山医療センター

¹¹福山市民病院

¹²日本鋼管福山病院

¹³庄原赤十字病院

広島県地域保健対策協議会 肝炎対策専門委員会

委員長	吉澤 浩司	広島大学大学院医歯薬学総合研究科
委員	相光 汐美	広島赤十字・原爆病院
	荒川 勇	広島県福祉保健部保健医療局保健対策室
	植野 公記	広島県福祉保健部総務管理局健康増進・歯科保健室
	浮田 實	福山市民病院
	大林 諒人	厚生連尾道総合病院
	奥野 博文	広島市社会局保健部保健医療課
	川上 広育	川上消化器・内科クリニック
	吉川 正哉	吉川医院
	坂田 達朗	国立病院機構福山医療センター
	高杉 敬久	広島県医師会
	田中 純子	広島大学大学院医歯薬学総合研究科
	茶山 一彰	広島大学大学院医歯薬学総合研究科
	中西 敏夫	総合病院庄原赤十字病院
	伯野 春彦	広島県福祉保健部保健医療局保健対策室
	布施 淳一	広島県福祉保健部総務管理局健康増進・歯科保健室
	堀江 正憲	広島県医師会
	舛田 一成	舛田内科・消化器科
	水井 正明	広島赤十字血液センター
	吉田 智郎	日本鋼管福山病院